

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
102-71	高等学校	国語	言語文化	
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
50 大修館	言 文 705	言語文化		

1. 編修の基本方針

- ・主体的・対話的で深い学びをとおして、生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけ、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるよう配慮する。
- ・言葉がもつ価値への認識を深め、語彙を豊かにし、言葉を使いこなす力を身につけるとともに、生涯にわたって読書に親しむ態度を養い、我が国の文化や伝統に対する関心を育むことができるよう配慮する。
- ・教育基本法第2条に示された教育目標への対応に配慮しつつ、上代から現代に至る多様な言語文化の中から適切な話題・題材を提示して生徒の興味・関心を喚起し、言語活動をとおして生徒が主体的に学習に取り組めるよう配慮する。

2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
現代文編 1 言語文化への視点 世界を見わたす窓／文字の深秘	・言葉や書物のもつ文化的・伝統的な価値について理解を深めることをねらいとして、「世界を見わたす窓」「文字の深秘」を位置づけた。(第1・5号)	pp. 10-20
2 言葉の紡ぐ世界 羅生門／『今昔物語集』／ゼイナブの指	・小説における語り手の役割や場面の展開のしかたに対する理解を深めることをねらいとし、「羅生門」「ゼイナブの指」を位置づけた。(第1号) ・作品の影響関係を知り、我が国の伝統的言語文化への理解を深められるよう、「羅生門」とその翻案元である『今昔物語集』を位置づけた。(第1・5号)	pp. 22-52
3 伝統と発展 実体の美と状況の美／短歌 十五首／俳句 十二句	・日本の伝統的な美意識について理解を深めることをねらいとし、「実体の美と状況の美」を位置づけた。(第1・5号) ・創造性を培い、自然を大切にできる態度を養うとともに、我が国の言語文化への理解を深めることができるよう、季節や自然を愛でた短歌・俳句の名作を収録した。(第2・4・5号)	pp.54-72
4 表現の多様性 夢十夜／青が消える／良識派	・作品に表れる象徴や寓意について理解を深めることをねらいとして、「夢十夜」「青が消える」「良識派」を収録した。(第1・3号)	pp.74-92
5 日本と世界 外国語の不思議・日本語の不思議／橋のたもとの老人／サーカス／Circus	・言語に対する理解を深めることをねらいとし、日本語と外国語との発想の違いについて論じた「外国語の不思議・日本語の不思議」を位置づけた。(第1・5号) ・翻訳をとおして、我が国の言語文化についての理解を深めることをねらいとし、翻訳小説「橋のたもとの老人」、英訳をあわせて掲載した詩「サーカス」を位置づけた。(第1・5号)	pp.94-114
6 文学と人生 城の崎にて／セメント樽の中の手紙／わたしが一番きれいだったとき	・作品の背景や、作品のもつメッセージなどについて理解を深めることをねらいとして、「城の崎にて」「セメント樽の中の手紙」「わたしが一番きれいだったとき」を収録した。(第1・5号)	pp. 116-136
探究 災害の記録 方丈記／むさしあぶみ／震災日記より／大震雑記	・生命を尊ぶ態度を養うとともに、我が国の言語文化への理解を深めることをねらいとして、さまざまな時代に書かれた災害の記録を収録した。(第4・5号)	pp. 137-142

<p>古文編</p> <p>1 古文に親しむ</p> <p>宇治拾遺物語／今昔物語集</p>	<ul style="list-style-type: none"> 古文を読むための基礎的な知識を身に付け、古典作品の特質を知ることがをねらいとし、話の展開がわかりやすい説話教材 4 本を収録し、古文学習へのスムーズな導入を図った。(第 1 号) 近現代の文学にも影響を与えた説話の魅力を知り、我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養できるよう、教材化に配慮した。(第 5 号) 	pp. 144-154
<p>2 自然へのまなざし</p> <p>徒然草／枕草子／方丈記</p>	<ul style="list-style-type: none"> 古人の豊かな情操にふれ、現代に繋がる伝統的な感性を意識することをねらいとし、随筆教材 3 作品 6 本を収録した。(第 1・5 号) 我が国の自然風土と言語文化の密接な関係について理解を深めることをねらいとし、『徒然草』『枕草子』『方丈記』とも作者の自然観や美意識が表れた章段を収録した。(第 4 号) 	pp. 156-167
<p>探究 季節を感じる</p> <p>春と秋—古典歳時記</p>	<ul style="list-style-type: none"> 身の回りにある季節を感じるものを意識することをねらいとし、四季を代表する景物の写真を掲載した。(第 1・4 号) 我が国の伝統的な季節感や美意識に気づき、考えることをねらいとし、さまざまな古典作品の季節感、美意識を取り上げ、現代の季節感にも触れた「春と秋—古典歳時記」を収録した。(第 5 号) 	pp. 168-172
<p>3 想いを表す言葉 (一)</p> <p>万葉集・古今和歌集・ 新古今和歌集</p>	<ul style="list-style-type: none"> 想像力を養い、豊かな情操を培うことをねらいとし、三歌集より和歌教材 26 首を「恋するところ」「四季の移ろい」「旅と別れ」のテーマごとに配列した。(第 1 号) 生命を尊び、自然を大切にする態度を養うことをねらいとし、我が国の四季折々の自然風土を詠んだ作品を収録した。(第 4 号) 和歌の修辞や歌集の特徴について知り、我が国の伝統文化への興味・関心を喚起し、理解が深められるよう配慮した。(第 5 号) 	pp. 174-186
<p>4 人との交わり</p> <p>伊勢物語／源氏物語</p>	<ul style="list-style-type: none"> 想像力を養い、豊かな情操を培うことをねらいとし、物語教材 1 作品 3 本を収録した。(第 1 号) 我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を養うことをねらいとし、我が国の代表的な歌物語である『伊勢物語』を収録、また、世界的にも有名な『源氏物語』に触れられるよう、教材化に配慮した。(第 5 号) 	pp. 188-202
<p>5 語り継がれる歴史</p> <p>平家物語／吾妻鏡</p>	<ul style="list-style-type: none"> リズムカルな文体をもつ軍記作品にふれ、正義と責任、自他の敬愛を重んずる態度を養うことをねらいとし、義仲主従の最期を描いた「木曾の最期」を収録した。(第 1,3 号) 歴史的な出来事が歴史書ではどのような形で扱われているか知り、物語作品と比較することをねらいとし、『吾妻鏡』を収録した。(第 1 号) 我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を養うことをねらいとし、『平家物語』が後世の文化や芸能に与えた影響について紹介するコラムを設けるなど、教材化に配慮した。(第 5 号) 	pp. 204-216
<p>6 旅と人生</p> <p>古人の旅路／土佐日記／ 更級日記／おくのほそ道／ 春望</p>	<ul style="list-style-type: none"> 当時の旅の様子や暦、時刻、方位など古典に関する幅広い知識を身につけ、豊かな情操を培うとともに、我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を養うことをねらいとし、仮名日記文学の先駆としての『土佐日記』から 1 本、『更級日記』から 1 本、近世の俳諧紀行文『奥の細道』から 4 本を収録した。(第 1・5 号) 	pp. 218-232
<p>漢文編</p> <p>1 漢文に親しむ</p> <p>私たちと漢文／論語／孟子</p>	<ul style="list-style-type: none"> 漢文を読むための基礎的な知識を身に付けることをねらいとし、『論語』『孟子』の章句を中心に例文を豊富に収録し、漢文学習へのスムーズな導入を図った。(第 1 号) 伝統的な言語文化に対する幅広い知識と、真理を求める態度を養うことをねらいとし、中国古典を代表する書物であり、日本人の精神形成にも影響を与え続ける『論語』11 章、『孟子』2 章を配列した。(第 1 号) 我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を養うことをねらいとし、漢字漢文の伝来の歴史と、漢文が我が国の文化を形成発展させる上で果たした役割について具体的な写真資料や近代以降の文章とともに示した。(第 5 号) 	pp. 234-246
<p>2 現代に生きる言葉</p> <p>蛇足／完璧／鶏鳴狗盗／臥薪嘗胆／枕草子</p>	<ul style="list-style-type: none"> 幅広い知識と真理を求める態度を養うことをねらいとし、現代でも使われる言い回しのもととなった故事 2 本と、史話教材 2 本を収録した。(第 1 号) 歴史上実在する人物の生き方を通じて、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことができるよう配慮した。(第 3 号) 訓読を通じて、中国の歴史書の表現の特徴と我が国に与えた影響を知り、我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養できるよう、教材化に配慮した。(第 5 号) 	pp. 248-260

<p>3 想いを表す言葉 (二)</p> <p>【自然】【友情】【人生】</p>	<ul style="list-style-type: none"> 想像力を養い、豊かな情操を培うことをねらいとし、唐詩の名作 11 首を収録した。(第 1 号) 漢語の特色を活かして緊密に構成された韻文の訓読を通じて、我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養できるよう、教材化に配慮した。(第 5 号) 	<p>pp. 262-274</p>
<p>4 文学と社会</p> <p>雑説／黔之驢／人面桃花</p>	<ul style="list-style-type: none"> 達意の名文として知られる韓愈、柳宗元の文章の訓読を通じて、真理を求める態度を養い、我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養できるよう、教材化に配慮した。(第 1・5 号) 高校生の心情に訴える恋愛物語「人面桃花」の訓読を通じて、想像力や豊かな情操を養い、我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養できるよう、教材化に配慮した。(第 1・5 号) 	<p>pp. 276-285</p>
<p>探究 物語の書き出し</p> <p>人虎伝／山月記</p>	<ul style="list-style-type: none"> さまざまな国、時代の物語作品と、歴史書の書き出しを比較することで、それぞれの特徴をとらえられるような作品を収録した。(第 1 号) 中国古典作品と、その翻案である近代日本文学作品の冒頭を読み比べることで、両者の違いとそれぞれの違いを知り、日本文学が中国文学の影響を受け発展してきたことを学び取れるよう、教材化に配慮した。(第 5 号) 	<p>pp.286-288</p>

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点

- 現代文編においては、文学作品の前後に、関連したテーマの評論文や随想作品を配し、生徒の読みに多様な視点を持たせられるようにした。また、「解釈の視点」として、文学作品を読む際の基礎的な知識や留意点をまとめたコラムを設け、読解力を養えるよう配慮した。さらに、「言語文化の窓」として、教材や単元に関連する知識や書籍を紹介するコラムを設け、幅広い知識を身に付けるとともに、読書に親しむ態度を育成できるよう工夫した。そのほか、巻頭には、教材に関連する図版を多く掲載し、生徒の興味関心を高められるようにした。
- 古文編・漢文編においては、「解釈の視点」「訓読のきまり」として、教材文を例にとって古典を読むための基礎知識を整理したコラムを設けた。また、「言語文化の窓」「言葉のタネ」として、教材に関連して知っておきたい古典常識などを紹介するコラムを設け、古典の世界がより身近に感じられるよう工夫した。さらに、近代、現代の作品や文化との繋がりを感じられるような近現代の文章を配置し、我が国の言語文化への理解を深められるよう工夫した。
- 資料編においては、文学の流れ・古文の舞台・暮らし・時間等に関する写真資料や地図を豊富に示し、それぞれの作品世界により親しみやすくなるよう配慮した。また、見返し部分には、世界の言語文化、日本の伝統文化に興味を広げられるよう、教材にも関連のある図版資料を豊富に掲載した。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
102-71	高等学校	国語	言語文化	
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
50 大修館	言文 705	言語文化		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

●基本方針

- ・主体的・対話的で深い学びをとおして、生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけ、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるよう配慮する。
- ・言葉がもつ価値への認識を深め、語彙を豊かにし、言葉を使いこなす力を身につけるとともに、生涯にわたって読書に親しむ態度を養い、我が国の文化や伝統に対する関心を育むことができるよう配慮する。
- ・学習指導要領に示された教育目標への対応に配慮しつつ、上代から現代に至る多様な言語文化の中から適切な話題・題材を提示して生徒の興味・関心を喚起し、言語活動をとおして生徒が主体的に学習に取り組めるよう配慮する。

●構成

単元構成は、それぞれにテーマと目標を設け、教材のジャンルにも配慮しながら編成した。学習の便宜のため、現代文編、古文編、漢文編にわけ、上古から現代までの文学作品を中心とした文章に触れられるように配慮した。また、「解釈の視点」を適宜配置し、教材の読解に資するようにした。

●教材選択にあたっての配慮

- ・現代文編では、言語文化への理解を深められるよう、近代から現代までの多様なテーマをもった作品を収録し、単元のテーマにあった評論文・エッセイも併せて採録した。
- ・古文編・漢文編では、基本的な名作・名文を精選して収録するとともに、教材理解を深めるため古典に関連した近代以降の文章を収録し、我が国の言語文化への興味関心を喚起し、理解を深められるよう配慮した。

●教材化の工夫

1 読解の基礎が身に付く教科書の基本設計

- ・単元扉に「単元の目標」、教材冒頭に「目標」を掲げ、学習内容を明確化できるようにした。
- ・教材中の「脚問」をとおして、その教材で身に付けたい基礎的な読解力を養い、その力をもとに、教材全体の理解力を測る「学習のポイント」に取り組む構成とし、着実に学習の定着をはかれるようにした。
- ・各単元末に「単元課題」を設け、単元の目標の達成度を測るとともに、他教材との比較読みをうながすようにした。
- ・語句・漢字の学習に役立つ「語句・漢字」欄を見開きごとに配置。読み替えや同音異義語、対義語などの情報も充実させ、「学習のポイント」の「語句と漢字」欄とあわせて、漢字・語彙の学習に資するようにした。
- ・古文編、漢文編の脚注欄では、人名には「人」、地名には「地」、補足的な情報には「補」の記号を示した。また「重要古語」「訓読で注意する文字」に印を付け、巻末で一覧できるようにした。

2 言語文化への興味喚起

- ・教科書全体を通し、言語文化の広がりを実感できるよう、作品の世界を多角的に紹介する「言語文化の窓」、言葉に関する知識を紹介する「言葉のタネ」を設け、教材から興味を広げられるように工夫した。
- ・「探究」コーナーを3か所に設置し、テーマごとに複数の作品や資料を比較して読むことで、学習を深められるよう工夫した。
- ・現代文編では、作品に関わりの深い古典作品や、外国語の作品を掲載し、時代や地域による広がりをつながりを感じられるように配慮した。
- ・古文編、漢文編それぞれに、各作品の読解に資する近現代の文章や、外国の翻案作品を掲載し、古典作品を多様な視点から読解できるように工夫した。

●資料編の充実

- ・古典に関する写真資料や地図などを豊富に掲載し、教材文との関連を示すことで教材の理解をより深められるように配慮した。
- ・名文に親しみ、歴史的な文体の変遷についても理解を深められるよう、「日本名文選」を設置した。

2. 対照表

図書の構成・内容		学習指導要領の内容														該当箇所	配当 時数									
		知識及び技能										思考力、判断力、表現力等														
												A 書くこと		B 読むこと												
		(1)		(2)			(1)		(2)			(1)	(2)	(1)	(2)											
		ア	イ	ウ	エ	オ	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	ア	イ	ア	ア	イ	ウ	エ	オ	ア	イ	ウ	エ	オ	
[現代文編]																										
1 言語文化への視点	世界を見わたす窓	○	○	○	○	○										○	○			○	○				p. 10～20	A:0 B:1 計1
	文字の深秘	○	○	○	○	○										○	○			○	○					
2 言葉の紡ぐ世界	羅生門	○	○	○	○	○										○	○			○	○			○	p. 22～52	A:0 B:5 (古:0.5) 計5
	『今昔物語集』巻第二九第一八	○	○	○	○	○										○	○	○	○	○			○			
	ゼイナブの指	○	○	○	○	○										○	○	○	○	○			○			
	〈解釈の視点〉①	○				○														○				○		
	〈言語文化の窓〉①	○				○	○				○															
3 伝統と発展	実体の美と状況の美	○	○	○	○	○										○	○			○	○				p. 54～72	A:1 B:1.5 計2.5
	短歌 十二首	○	○	○	○	○										○	○			○	○					
	俳句 十五句	○	○	○	○	○										○	○			○	○					
	〈解釈の視点〉②	○	○	○	○	○														○				○		
	〈言語文化の窓〉②	○				○																				
4 表現の多様性	夢十夜	○	○	○	○	○										○	○	○	○	○				p. 74～92	A:0 B:4.5 計4.5	
	青が消える	○	○	○	○	○										○	○	○	○	○						
	良識派	○	○	○	○	○										○	○	○	○	○						
	〈解釈の視点〉③	○	○	○	○	○														○						○
	〈言語文化の窓〉③	○				○	○				○															
5 日本と世界	外国語の不思議・日本語の不思議	○	○	○	○	○										○	○			○	○				p. 94～114	A:0 B:3.5 計3.5
	橋のたもとの老人	○	○	○	○	○										○	○	○	○	○						
	サーカス	○	○	○	○	○										○	○	○	○	○						
	Circus	○	○	○	○	○										○	○			○	○		○			
	〈解釈の視点〉④	○	○	○	○	○														○				○		
	〈言語文化の窓〉④	○	○	○	○	○																				
6 文学と人生	城の崎にて	○	○	○	○	○										○	○	○	○	○				p. 116～142	A:1.5 B:6 (古:1) 計7.5	
	セメント樽の中の手紙	○	○	○	○	○										○	○	○	○	○						
	わたしが一番きれいだったとき	○	○	○	○	○										○	○	○	○	○						
	〈解釈の視点〉⑤	○	○	○	○	○														○						○
	探究 災害の記録	○	○	○	○	○										○	○	○	○	○						

図書の構成・内容	学習指導要領の内容														該当箇所	配当 時数								
	知識及び技能							思考力、判断力、表現力等																
								A 書くこと				B 読むこと												
	(1)			(2)				(1)		(2)														
ア	イ	ウ	エ	オ	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	ア	イ	ア	イ	ウ	エ	オ	ア	イ	ウ	エ	オ		
[古文編]																								
1 古文に親しむ	宇治拾遺物語																						p. 144 ～154	A:0.5 B:4 計4.5
	〈解釈の視点〉①																							
	今昔物語集																							
2 自然へのまなざし	徒然草																						p. 156 ～172	A:1.5 B:3.5 計5
	〈解釈の視点〉②																							
	枕草子																							
	方丈記																							
3 想いを表す言葉〈一〉	探究 季節を感じる																							
	万葉集・古今和歌集・新古今和歌集																						p. 174 ～186	A:0 B:2 計2
	狂おしい恋心																							
	恋の始まり																							
	見立て																							
4 人との交わり	赴任か帰京か																							
	〈解釈の視点〉③																							
	伊勢物語																						p. 188 ～202	A:0 B:4 計4
	〈解釈の視点〉④																							
5 語り継がれる歴史	かきつばたの折句																							
	〈言語文化の窓〉①																							
	源氏物語																							
	平家物語																						p. 204 ～216	A:0 B:3.5 計3.5
6 旅と人生	吾妻鏡																							
	〈解釈の視点〉⑤																							
	〈言語文化の窓〉②																							
	土佐日記																						p. 218 ～232	A:0 B:4 計4
1 漢文に親しむ	〈解釈の視点〉⑥																							
	更級日記																							
	おくのほそ道																							
	〈言語文化の窓〉③																							
[漢文編]																								
1 漢文に親しむ	漢文とは																						p. 234 ～246	A:0 B:4 計5
	論語・孟子																							
	訓読に親しむ①																							
	訓読に親しむ②																							
	訓読に親しむ③																							
	訓読に親しむ④																							
2 現代に生きる言葉	〈解釈の視点〉①																							
	蛇足(戦国策)																						p. 248 ～260	A:0.5 B:5 計5.5
	完璧(十八史略)																							
	〈言語文化の窓〉①																							
3 想いを表す言葉〈二〉	鶏鳴狗盗(十八史略)																							
	臥薪嘗胆(十八史略)																							
	【自然】																						p. 262 ～274	A:0 B:5.5 計5.5
	【友情】																							
	【人生】																							
4 文学と社会	〈解釈の視点〉②																							
	〈言語文化の窓〉②																							
	雑説(韓愈)																						p. 276 ～288	A:0 B:7 計7
	黔之驢(柳宗元)																							
資料編	人面桃花(孟棻)																							
	〈言語文化の窓〉③																							
探究 物語の書き出し																								
古文の舞台／古文の暮らし／古文の時間／古文の言葉／漢文の舞台／漢文の世界／漢文の言葉／文学の流れ／日本名文選																							p. 289 ～351	—

総計 70